

# 平成24年度

## 第1回 長岡市図書館協議会

日 時 平成24年7月25日(水) 午後1時30分～午後3時10分  
会 場 中央図書館2階 講座室1

会議出席者 委 員： 渡邊委員長 淵本副委員長 佐藤(銀)委員 稲田委員  
恩田委員 小林委員 湯本委員 松本委員  
(欠席：佐藤(明)委員 畠野委員)

事務局： 品田館長 島田館長補佐 岩淵庶務係長 松矢奉仕係長 石井文  
書室長 指定管理者荒井統括責任者 同高橋業務統括チーフ  
同渡辺業務統括チーフ

### 1 開 会

### 2 委員・職員紹介

### 3 正副委員長選出

### 4 議事

#### (1) 報告事項

- ① 平成23年度の実績報告及び平成24年度の事業概要について
- ② 「子ども読書活動推進計画」の進捗状況について
- ③ 中央図書館空調設備改修工事について
- ④ TRC自主事業「語り継ぐもの・中越地震データベース構築事業」  
について

#### (2) 協議事項

長岡市図書館の活動評価項目の見直しについて

#### (3) その他

### 5 閉会

### 6 会議録要旨

○ 指定管理者の位置付けはどのようなものか。

⇒指定管理者制度は、地方公共団体が行う事業の一部について、民間に委ねることで、民間が持っているノウハウや活力、機動性を活用し、より効率的に運営を行い、サービスの向上を図ることを目的に制定された制度である。図書館は、互尊文庫をはじめ、7つの地域図書館について、平成20年度から指定管理制度を導入しており、現在、7館全てTRC(株)図書館流通センターが指定管理者となっている。来年度は、更新となるため、平成24年度中に指定管理事業者を選定し、決定する予定である。指定管理者の決定は、随意契約ではなく、募集により、図書館が示した業務基準やその他運営に関する

る事項に対する提案等を有識者で構成する選定委員会で評価し、選定する方法で行う。評価の際には、基準事項のほか、運営上のサービス向上に係る提案の内容が重要になると思う。

○公立図書館の役割から言えば、指定管理制度の導入が必ずしも、それに相応しいものとは思わない。推進する方向と戻す方向の二極がある現状で、それぞれに長所短所があると思うが、戻す方向も検討しているのか。

⇒導入施設については毎年度の事業実績を指定管理者が自己評価し、それをふまえて有識者で構成する選定委員会においてモニタリング評価をいただいている。地域図書館の指定管理者であるTRCの実績については、それなりの評価を得ており、選定委員会の中では、廃止すべきの意見は聞かれなかった。なお、評価が良いからといって、更新手続きは、随意契約ということではなく、前回同様、公募によるべきとの意見をいただいている。

○今年度文書資料室が行う歴史資料現存確認調査は、越路町史の関連か、また、他のものと併せて行うのか。

⇒越路町史と新潟県史の両方に係る歴史資料の現存確認調査である。

○改修工事の設計・監督等は、図書館が直接行うのか。

⇒図書館には専門の職員がいないので、教育委員会の中に担当する部署があり、その専門職員が設計・監督する。

○中越防災アーカイブセンターとの連携は、是非図ってもらいたい。

○アーカイブセンターとの連携はもちろんだが、例えば岩手県立図書館との連携等の具体的な取り組みはあるか。

○データベースの対象範囲は、中越地震に限定したものか、災害復旧・復興という大きなくくりでやるのか目指す方向は。

⇒まだ具体的な動きはないが、岩手県立図書館とはお互いに情報交換をと話し合っている。中越地震に関するものをベースに新たな情報を収集していくことは、具体的な方策の一つと考える。

○これは、図書館が自ら自己評価を行い、協議会が2次評価を行う際の評価項目の見直しである。今回は、軽微な修正なので、承認するか否かではなく、我々委員の意見を参考に、決定してもらってよいのでは。

○現行の評価項目は多すぎると思う。重要な項目は残し、できるだけ簡潔にすべき。

○活動の評価は、継続して行うことが重要と考える。